

社会医療法人 近森会 近森リハビリテーション病院



贈呈理由

環境に配慮した高効率ヒートポンプと業務用エコキュートの導入により、省エネを実現



近森リハビリテーション病院



業務用エコキュート



院内

中核病院として、地域の安全・安心に貢献

近森会グループは、昭和21年12月に近森外科を開設したことに始まり、平成28年で70周年を迎える。グループの中核である近森病院は、救命救急センター、地域医療支援病院、災害拠点病院として機能しており、グループには、脳・脊髄疾患専門のリハビリテーション病院、整形疾患専門のリハビリテーション病院、障害者の社会参加を促進する社会福祉法人を有し、障害者医療にも力を入れている。

平成22年には社会医療法人として認定を受け、地域医療を支え高度急性期医療にも対応した県下でもトップレベルの患者数を誇る基幹病院群としての役割を担い、地域の安全・安心に貢献している。

今回の近森リハビリテーション病院

は、平成元年に脳・脊髄疾患専門のリハビリテーション病院として開院し、開院当時より「どのような障害があっても患者さんが住み慣れたところでその人らしく安心して生活できるように適切なりハビリテーション医療サービスを提供する」という理念のもと運営されている。

昨年8月、高知市を流れる江ノ口川をはさみ、急性期医療の近森病院の対岸に新築移転した。新病院は、南海トラフ地震に備え免震構造と津波対策として病棟を3階以上に設置し、患者さんはもとより働くスタッフの安全確保にも留意し、患者さんは治療に専念しやすく、スタッフは働きやすい環境を重視した構造となっている。全国でも屈指の広さを誇り、快適な病室、1,030㎡のリハビリテーション室を擁し、より効果的なりハビリテーションを行うために充実した設備を有する病院である。

省エネ・省CO₂・省コストに優れた施設を実現

熱源システムの選定にあたっては、従来使用していた機器との比較検討を重ね、環境性、経済性を考慮した結果、高効率ヒートポンプ空調および衛生的でかつ快適な厨房環境が実現できる電化厨房の採用に至った。給湯にはCO₂排出量削減とランニングコスト低減に優れた、環境にやさしい業務用エコキュートを採用した。

近森リハビリテーション病院

所在地：高知県高知市廿代町2-22
建築設計：(株)THINK建築設計事務所
建築施工：(株)竹中工務店
蓄熱設備設計：(株)alti設備設計室
蓄熱設備施工：(株)竹中工務店
延床面積：16,556.161㎡
竣工：2015年(新設)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート 40kW×6台(三菱電機)
貯湯槽：24㎡